

# B 作 況

## I 畑 作 物

### 1. 気象概況（作物開発部 長沼町）

令和4年9月から令和5年10月までの概況は次のとおりである。

令和4年

9月～10月：気温は平年よりやや高温傾向に推移した。降水量は平年より少なく、日照時間は多かった。

11月～12月：11月は平年より高温であり、特に11月下旬が高温であった。12月に入るとやや低温となった。降水量は平年より少なく、日照時間は多かった。

令和5年

1月～3月：1月は平年より低温であり、特に1月下旬が低温であった。2月の気温は平年並み、3月は高温に推移した。降水量は1月が平年より多く、2月～3月が平年並みであり、3月の最高気温が高く推移したことから、融雪の進行は早かった。

4月～5月：平均気温は4月に高く、5月は平年並であった。降水量は4月に多く、5月は少なかった。日照時間は4月にやや少なく、5月は平年並であった。

6月～7月：平均気温は高かった。降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。

8月～9月：平均気温は高く、特に8月は平均気温で4.3℃高く、最高気温の平均値が30℃を超えるなど高温であった。降水量は8月は少なく、9月は多かった。日照時間は8月は多く、9月は少なかった。

10月：気温は平年よりやや高く、降水量は多く、日照時間は多かった。

農耕期間の積算値から、本年の平均気温は平年比 112～113%と高く、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。根雪終（融雪剤散布）は平年より7日早い3月20日、根雪終（通常）は平年より8日早い3月23日で、積雪期間が平年より3日短い113日であった。降雪終は平年より16日遅い4月23日であった。耕鋤始は平年並の4月14日であった。晩霜は平年より5日早い4月15日である。初霜は平年より11日遅い10月30日であり、無霜期間は平年より18日長い119日となった。降雪初めは平年より6日遅く11月11日である。

## 2. 気象表

### 道総研中央農試（アメダス長沼）

年 月	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	平年比%	本年	平年	平年比%	本年	平年	平年比%
令和4年 9月	18.5	17.7	0.8	23.9	22.7	1.2	13.4	13.2	0.2	108	142	76	8	11	73	194	165	118
(2022) 10月	11.4	10.6	0.8	16.6	15.7	0.9	6.5	5.7	0.8	56	100	56	13	14	93	162	145	112
11月	5.8	4.0	1.8	10.2	8.0	2.2	1.5	-0.2	1.7	73	88	83	14	15	93	111	102	109
12月	-3.4	-2.9	△ 0.5	0.7	0.9	△ 0.2	-7.8	-7.6	△ 0.2	36	68	52	17	14	121	99	94	105
令和5年 1月	-7.3	-6.3	△ 1.0	-2.5	-2.0	△ 0.5	-13.3	-11.8	△ 1.5	67	52	129	17	14	121	113	109	103
(2023) 2月	-5.3	-5.0	△ 0.3	-0.3	-0.7	0.4	-11.6	-10.5	△ 1.1	45	44	101	20	14	143	114	122	93
3月	3.2	0.5	2.7	8.0	4.5	3.5	-1.7	-4.0	2.3	46	47	97	11	12	92	182	170	107
4月	8.2	6.2	2.0	13.1	11.4	1.7	3.5	1.3	2.2	86	53	161	12	10	120	155	193	80
5月	12.0	12.1	△ 0.1	18.0	17.6	0.4	6.7	7.4	△ 0.7	40	65	62	10	12	83	213	198	108
6月	17.7	15.9	1.8	23.2	20.8	2.4	13.4	12.2	1.2	77	115	66	12	10	120	164	164	100
7月	22.7	20.4	2.3	27.7	25.2	2.5	19.4	17.0	2.4	47	83	57	7	10	70	156	168	93
8月	25.5	21.2	4.3	30.4	25.6	4.8	22.2	17.8	4.4	94	198	47	12	13	92	166	145	115
9月	20.4	17.4	3.0	25.4	22.5	2.9	16.1	12.8	3.3	153	127	120	13	11	118	131	169	78
10月	12.0	10.7	1.3	17.4	15.7	1.7	7.0	5.7	1.3	140	96	145	12	14	86	173	146	119

注1)気象データはアメダス長沼。

注2)平年値は過去10年間の平均値。注3)最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4)降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウントした。注5)△は減を示す。

## 3. 季節表

	(年)	初霜	根雪始	融雪剤	通常の	積雪期間	降雪終	耕鋤始	晩霜	初霜	無霜期間	降雪始
		(月/日)	(日)	根雪終*	根雪終	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	(日)	
本年	2022	2022	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023	2023
	10/26	12/1	3/20	3/23	113	4/23	4/14	4/15	10/30	199	11/11	
平年	10/19	12/7	3/27	3/31	116	4/7	4/14	4/20	10/19	181	11/5	
比較	7	△ 6	△ 7	△ 8	△ 3	16	0	△ 5	11	18	6	

注1)平年値は中央農試における前年まで10年間の平均値を用いた。ただし、「\*」は、融雪剤を散布しなかった2015年の数値がなく9カ年平均値。

注2)積雪期間の平年値にはうるう年を含むため、根雪始・終の差と一致しない。

## 4. 農耕期間の積算値

項目	平均気温(°C)	最高気温(°C)	最低気温(°C)	降水量(mm)	降水日数(日)	日照時間(hr)	
4~10月	本年	3,593	4,692	2,690	636	78	1,158
	平年	3,180	4,285	2,273	737	80	1,182
	比較	413	407	417	△ 101	△ 2	△ 24
	平年比%	113	109	118	86	98	98
5~9月	本年	2,980	3,763	2,371	410	54	829
	平年	2,666	3,420	2,061	587	56	843
	比較	314	343	310	△ 177	△ 2	△ 14
	平年比%	112	110	115	70	96	98

注1) ラウンドの関係で上の月別値の合計とは合わない場合がある。

## 5. 耕種概要

	一区面積 (m <sup>2</sup> )	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/m <sup>2</sup> )	株数 (株/10a)
秋まき小麦 ~R4播種	9.6	4	ひまわり	20	条播	—	255	—
R5播種～	9.6	4	ひまわり	20	条播	—	200	—
春まき小麦	4.8	4	ひまわり	30	条播	—	340	—
大豆	8.4	3	デントコーン	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	デントコーン	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	エン麦	75	30	—	—	4,444

	10a当たり施肥量(kg)					備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥	
秋まき小麦 ~R4播種	4.0+6.0	8.0	4.0	0.8	—	N:基肥4+起生期6(4/3)
R5播種～	4.0+6.0+4.0	8.0	4.0	0.8	—	N:基肥4+起生期6(*/*)+止葉期4(*/*)
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—	
大豆	1.5	12.5	6.5	3.5	—	
小豆	4.2	16.8	9.8	3.5	—	
ばれいしょ	10.4	16.4	13.6	—	1000kg	

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

## 6. 作 況

(1) 秋まき小麦(令和3年播種) 作況：良

事由：播種期は平年より5日早い9月15日であった。播種後の気象は良好で、出芽期は平年より5日早い9月22日となった。越冬前後の茎数は平年より多かった。積雪期間は113日で平年より3日短く、雪腐病による冬損程度は平年並であった。融雪期は平年より早く、融雪期から4月中旬にかけて高温に経過したことから、生育は平年より早く進んだ。出穂期は平年より3日早い5月29日であった。6月第

6半旬の降雨により軽微な倒伏が発生した。登熟期間は平年より高温に経過したことにより、成熟期は平年より4日早い7月14日となった。成熟期における稈長および穂長は平年よりやや長く、穂数はやや多かった。子実重は、1,004kg/10aで平年対比134%であった。千粒重はやや軽く、容積重は平年並であった。検査等級は1等で平年並であった。

以上により、本年の作況は良である。

項目 \ 年次		品種名		
		きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(R4.月.日)	9.15	9.20	△ 5
出芽期	(R4.月.日)	9.22	9.27	△ 5
出穂期	(R5.月.日)	5.29	6.1	△ 3
成熟期	(R5.月.日)	7.14	7.18	△ 4
冬損程度	(0:無～5:甚)	0.5	0.3	0.2
草丈 (cm)	R4.10.20	19.1	20.1	△ 1.0
	R5.5.20	59.6	55.8	3.8
	R5.6.20	101.4	99.0	2.4
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	R4.10.20	1014	828	186
	越冬前(11月)	1890	1318	572
	越冬後(4月)	3023	2159	864
	R5.5.20	1318	1425	△ 108
	R5.6.20	951	861	90
成熟期における	稈長 (cm)	95	89	6
	穂長 (cm)	9.4	9.0	0.4
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	876	809	68
倒伏程度	(0:無～5:甚)	0.7	1.0	△ 0.3
子実重	(kg/10a)	1004	747	257
容積重	(g)	808	814	△ 7
千粒重	(g)	37.2	38.2	△ 1.0
品質	(等級)	1等	1等	-
子実重平年対比	(%)	134	100	34

注1) 平年値:前7か年中、令和4年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

(2) 春まき小麦 作況：不良

事由：本年の根雪終（融雪剤散布）は、平年より7日早い3月20日であった。播種期は平年並の4月14日であった。播種後に降雨が続き、土壌がクラスト状となったため、出芽がばらつき、出芽期は平年より3日遅かった。5月上旬以降の平均気温は概して平年並で経過したが、出芽期が遅かったことから、5月20日時点における草丈、茎数はともに平年を下回った。5月下旬から6月中旬にかけて平均気温は平年並からやや高く経過し、出穂期は平年より2日遅れとなった。開花後の気温が非常に高かったことから、成熟期は平年より3日早く、登熟期間が平年よ

り5日短かった。成熟期における穂長はやや長い、稈長は平年よりやや短く、穂数は平年比82～89%と少なかった。6月中旬以降の高温により、出穂期は早まったが、主茎と分けつ茎の生育差が目立ったため、穂揃い性は劣った。千粒重は概ね平年並であったが、子実重は平年比59～65%と平年を大きく下回った。子実の充実がやや不十分なため、容積重は平年よりやや軽かったが、検査等級は1等であった。

以上により、本年の作況は不良である。

品種名		春よ恋			はるきらり		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.14	4.14	0	4.14	4.14	0
出芽期	(月.日)	5.01	4.28	3	5.02	4.29	3
出穂期	(月.日)	6.17	6.15	2	6.16	6.14	2
成熟期	(月.日)	7.25	7.28	△3	7.28	7.31	△3
草丈	5月20日	19.6	22.5	△2.9	21.3	25.1	△3.8
	(cm) 6月20日	75	83	△8	77	83	△6
茎数	5月20日	395	708	△313	338	636	△298
	(本/m <sup>2</sup> ) 6月20日	653	688	△35	699	692	7
7月20日	稈長 (cm)	85	90	△5	81	87	△6
または	穂長 (cm)	9.0	8.5	0.5	8.6	7.7	0.9
成熟期の	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	388	474	△86	431	484	△53
子実重	(kg/10a)	328	503	△175	331	558	△227
千粒重	(g)	41.8	41.2	0.6	45.6	45.5	0.1
容積重	(g)	819	830	△11	826	831	△5
品質	(等級)	1等	1等	—	1等	1等	—
子実重	平年対比 (%)	65	100	△35	59	100	△41

注) 平年値: 前7か年中、平成28年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均。

(3) 大豆 作況：良

事由：播種期は平年より4日早い5月17日であった。播種後の降雨により出芽は順調で、出芽期は平年より4日早い5月29日であった。6月中旬以降高温に経過したことから、開花期は平年より4日早い7月12日であった。その後生育期間を通じて高温に経過したことから、着莢は順調であった。9月中旬以

降、成熟がやや緩慢になり、成熟期は平年並であった。一莢内粒数は平年並で、百粒重は平年より2.8g軽かったが、着莢数が平年比117%と多かったことから、子実重は平年比112%と多収となった。品質は裂皮が多く、等級は特定加工用合格であった。以上により本年の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.17	5.21	△ 4
出芽期	(月.日)	5.29	6.2	△ 4
開花期	(月.日)	7.12	7.15	△ 3
成熟期	(月.日)	9.29	9.29	0
主茎長 (cm)	6月20日	11.7	10.6	1.1
	7月20日	56.7	42.5	14.2
	8月20日	59.0	54.7	4.3
	9月20日	59.0	54.5	4.5
	成熟期	58.9	54.3	4.6
主茎節数 (節)	6月20日	3.3	3.0	0.3
	7月20日	9.7	9.3	0.4
	8月20日	9.9	9.8	0.1
	9月20日	9.7	9.7	0.0
	成熟期	9.5	9.7	△ 0.2
分枝数 (本/株)	7月20日	6.1	6.2	△ 0.1
	8月20日	6.3	6.7	△ 0.4
	9月20日	6.1	9.7	△ 3.6
	成熟期	5.9	6.3	△ 0.4
着莢数 (莢/株)	8月20日	90.2	75.6	14.6
	9月20日	80.0	67.2	12.8
	成熟期	80.1	68.3	11.8
一莢内粒数		1.85	1.83	0.02
子実重	(kg/10a)	454	406	48
百粒重	(g)	36.1	38.9	△ 2.8
屑粒率	(%)	1.1	2.0	△ 0.9
品質	(等級)	合格	2上	
子実重平年対比 (%)		112	100	12

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、令和3年(最豊)を除く5カ年平均。

(4) 小豆 作況：不良

事由：播種期は平年並の5月24日であった。出芽期は平年より3日早い6月7日であった。出芽後の気温は平年より高く、適度な降水があったことから、生育は早く進んだ。開花期は平年より8日早い7月18日であった。開花期から8月全般に高温に経過したため、成熟期は平年より14日早い9月5日であった。成熟期における主茎長は平年より長く、主茎節数はやや多く、分枝数はやや少なかった。着莢数は

平年より少なく、一莢内粒数は多かった。一部の莢でマメノメイガによる食害が見られた。子実重は195kg/10aで、平年比58%であった。開花期以降の高温により、百粒重は平年よりかなり軽く、虫害などの影響により、屑粒率は高かった。検査等級は3等中で、平年を下回った。

以上により、本年の作況は不良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモショウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.24	0
出芽期	(月.日)	6.07	6.10	△ 3
開花期	(月.日)	7.18	7.26	△ 8
成熟期	(月.日)	9.05	9.19	△ 14
主茎長 (cm)	6月20日	3.9	4.7	△ 0.8
	7月20日	20.3	16.9	3.4
	8月20日	55.4	57.9	△ 2.5
	成熟期	65.1	61.1	4.0
主茎節数 (節)	6月20日	2.1	1.4	0.7
	7月20日	10.2	7.3	2.9
	8月20日	16.1	14.8	1.3
	成熟期	16.3	14.5	1.8
分枝数 (本/株)	7月20日	3.0	2.4	0.6
	8月20日	3.9	3.6	0.3
	成熟期	3.2	4.3	△ 1.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	43.4	44.0	△ 0.6
	成熟期	41.2	51.8	△ 10.6
一莢内粒数		7.06	6.10	0.96
子実重	(kg/10a)	195	338	△ 143
百粒重	(g)	9.8	14.0	△ 4.2
屑粒率	(%)	10.2	6.3	3.9
品質	(等級)	3中	3上	-
子実重平年対比	(%)	58	100	△ 42

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、令和2年(最凶)を除く5カ年平均。

ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、

6月20日の主茎長と分枝数の平年値は平成30年も除いた4カ年平均。

(5) ばれいしょ 作況：良

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より8日早い3月23日で、植付期は平年より5日遅い4月28日であった。萌芽期は平年より4日遅い5月25日であったが、平均気温は平年並からやや高く経過したことから、開花始は平年より2日遅い6月19日であった。6月下旬以降高温で経過し、適度な降雨もあり、順調に生育し、7月20日時点で茎数はやや少ないが、茎長は平年並であった。茎葉の黄化が始まったが、疫病等の主要病害の発生は認められなかった。8月上旬～中旬は周期的な降雨と引き続き高温で経

過したため、枯凋は進んだが、一部の茎葉で二次生長が生じ、枯凋期は平年より13日遅い9月1日であった。枯凋期における株当たりの上いも数は平年よりやや多く、上いも平均一個重は平年並で、上いも重は平年比110%、中以上いも重は平年比111%と多収であった。でん粉価は平年を下回った。塊茎の一部において、こぶ型や萌芽型の二次生長が認められた。

以上により、本年の作況は良である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.28	4.23	5
萌芽期	(月.日)	5.25	5.21	4
開花始	(月.日)	6.19	6.17	2
枯凋期	(月.日)	9.01	8.19	13
茎長	6月20日	37	38	△ 1
(cm)	7月20日	43	45	△ 2
茎数	6月20日	4.2	4.7	△ 0.5
(本/株)	7月20日	4.4	4.8	△ 0.4
8月20日における				
上いも数	(個/株)	12.2	12.1	0.1
上いも平均一個重(g)		93	87	6
上いも重	(kg/10a)	5056	4656	400
でん粉価	(%)	14.6	15.4	△ 0.8
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	13.5	12.3	1.2
上いも平均一個重(g)		89	90	△ 1
上いも重	(kg/10a)	5309	4819	490
中以上いも重(kg/10a)		4549	4081	468
でん粉価	(%)	13.9	15.2	△ 1.3
上いも重平年対比 (%)		110	100	10
中以上いも重 // (%)		111	100	11
でん粉価 // (%)		91	100	△ 9

注) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和4年(最豊)を除く5か年平均。ただし、枯凋期は二次生長が多発した令和3年も除く4か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。

(6) 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。



## Ⅱ 水 稲

### 1. 気象概況

本年の根雪終は3月28日で平年より7日早く、降雪終は5月12日で平年より21日遅く、晩霜は5月13日で平年より15日遅かった。

4月：平均気温は8.3℃で平年より1.8℃高く、降水量は平年の169%、日照時間は平年の78%であった。

5月：平均気温は12.9℃で平年並、降水量は平年の48%、日照時間は平年の117%であった。

6月：平均気温は18.3℃で平年より1.7℃高く、降水量は平年の83%、日照時間は平年の111%であった。

7月：平均気温は22.9℃で平年より1.7℃高く、降水量は平年の90%、日照時間は平年の84%であった。

8月：平均気温は25.7℃で平年より4.1℃高く、降水量は平年の59%、日照時間は平年の111%であった。

9月：平均気温は20.3℃で平年より2.6℃高く、降水量は平年の119%、日照時間は平年の90%であった。

10月：平均気温は11.9℃で平年より1.2℃高く、降水量は平年の155%、日照時間は平年の122%であった。

本年の初霜は10月24日で平年より7日遅く、降雪始は11月11日で平年より15日遅かった。

農耕期間の5月から9月までの積算値は、平均気温が平年の111%、降水量は平年の79%、日照時間は平年の103%であった。

### 2. 作況：不良

事由： 播種は平年より2日遅い4月18日に行った。播種後の4月第5半旬は低温で経過したものの、出芽期は平年より1日遅い4月23日であった。出芽後は、5月第2～3半旬を除いて高温で経過した。移植は平年より1日早い5月19日に行った。移植時の苗形質は、草丈は平年よりやや長く、主稈葉数は平年よりやや多く、苗の充実度（地上部乾物重/草丈）は平年並であった。

移植直後の5月第5半旬は低温であったが、多照で経過したことから活着は良好であった。6月第1半旬は低温寡照に経過し、生育は緩慢となったが、6月第3半旬以降は高温多照に経過し、生育が回復したことか

ら、幼穂形成期は平年より2～3日早く、止葉期は平年より4～5日早かった。7月第2半旬以降は特に最低気温が継続して平年を上回り、出穂期は平年より6～7日早く、穂揃日数は平年より1.8日短かった。8月中旬から下旬にかけてさらに高温に経過し、成熟期は平年より12～13日早く、登熟日数は平年より5～7日短かった。

稈長は67.0～67.9cm、穂長は16.8～17.4cmでそれぞれ平年よりやや長く、穂数は631～688本/m<sup>2</sup>で平年並からやや少なかった。一穂粒数は平年より8～12%少なく、m<sup>2</sup>当たり粒数は平年より14～15%少なかった。稔実歩合は平年並で、m<sup>2</sup>当たり稔実粒数は平年より15～17%少なく、登熟歩合は平年並で、m<sup>2</sup>当たり登熟粒数は平年より14～18%少ない22,900～23,800粒だった。

わら重、精粒重はそれぞれ平年比100～103%、95～96%であり、粒摺歩合は「ななつぼし」で概ね平年並、「ゆめぴりか」で平年より3.1ポイント低く、屑米歩合は「ななつぼし」で平年より0.9ポイント低く、「ゆめぴりか」で平年より2.9ポイント高かった。精玄米千粒重は「ななつぼし」で概ね平年並、「ゆめぴりか」で平年よりやや小さく、精玄米重は50.8～55.8kg/aと平年を下回り、収量平年比は92～95%、2品種平均では精玄米重53.3kg/a、収量平年比93%であった。検査等級は「ななつぼし」は1等で平年を上回ったが、「ゆめぴりか」は白未熟粒や乳白粒の発生が目立ったため2等中であり、平年を下回った。

以上により、本年の作況は、不良である。

気象表

月旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)				降水日数(日)			日照時間(h)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比%	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比%
4月上旬	7.5	4.4	3.1	13.1	9.0	4.1	2.2	-0.1	2.3	20.0	13.2	6.8		4.0	4.5	△ 0.5	54.9	63.3	△ 8.4	
中旬	7.9	6.3	1.6	12.0	11.7	0.3	3.6	1.4	2.2	29.5	24.2	5.3		5.0	4.0	1.0	45.6	65.4	△ 19.8	
下旬	9.4	8.9	0.5	13.7	14.8	△ 1.1	5.3	3.2	2.1	31.0	10.2	20.8		4.0	3.6	0.4	57.0	72.0	△ 15.0	
5月上旬	11.7	10.8	0.9	17.5	16.4	1.1	6.5	5.9	0.6	17.0	21.9	△ 4.9		3.0	4.5	△ 1.5	75.1	59.5	15.6	
中旬	12.9	12.6	0.3	19.7	18.4	1.3	7.6	7.5	0.1	2.0	30.9	△ 28.9		2.0	3.6	△ 1.6	75.7	66.3	9.4	
下旬	14.0	15.0	△ 1.0	20.0	20.9	△ 0.9	8.7	9.9	△ 1.2	20.5	29.1	△ 8.6		4.0	3.8	0.2	87.0	77.4	9.6	
6月上旬	15.5	15.7	△ 0.2	20.5	21.6	△ 1.1	10.7	10.9	△ 0.2	50.0	27.9	22.1		7.0	3.3	3.7	35.8	69.3	△ 33.5	
中旬	18.4	16.4	2.0	23.7	21.4	2.3	14.1	12.7	1.4	4.5	39.9	△ 35.4		2.0	4.1	△ 2.1	75.7	49.9	25.8	
下旬	21.1	17.8	3.3	27.5	22.8	4.7	15.8	13.9	1.9	28.5	32.7	△ 4.2		3.0	3.6	△ 0.6	79.6	52.5	27.1	
7月上旬	21.2	19.8	1.4	27.1	25.1	2.0	17.0	15.8	1.2	6.5	32.3	△ 25.8		3.0	3.5	△ 0.5	58.7	58.6	0.1	
中旬	21.9	21.2	0.7	26.5	26.6	△ 0.1	19.0	17.4	1.6	46.5	29.1	17.4		4.0	2.9	1.1	34.6	63.9	△ 29.3	
下旬	25.3	22.5	2.8	29.7	27.5	2.2	21.9	18.8	3.1	29.5	29.8	△ 0.3		4.0	3.3	0.7	65.2	66.2	△ 1.0	
8月上旬	24.8	23.0	1.8	28.9	28.1	0.8	21.5	19.2	2.3	64.5	57.1	7.4		6.0	3.7	2.3	35.3	59.6	△ 24.3	
中旬	25.6	21.3	4.3	30.9	25.8	5.1	21.4	17.9	3.5	17.0	88.4	△ 71.4		2.0	4.7	△ 2.7	63.0	44.1	18.9	
下旬	26.5	20.5	6.0	31.8	25.3	6.5	22.7	16.5	6.2	41.0	61.1	△ 20.1		3.0	4.8	△ 1.8	78.1	55.1	23.0	
9月上旬	22.6	20.1	2.5	27.7	25.1	2.6	17.9	15.9	2.0	35.5	31.3	4.2		4.0	2.9	1.1	60.0	59.2	0.8	
中旬	21.6	17.2	4.4	26.2	22.2	4.0	17.6	12.8	4.8	108.0	60.9	47.1		5.0	4.4	0.6	35.9	53.2	△ 17.3	
下旬	16.7	15.8	0.9	22.0	21.3	0.7	12.2	10.6	1.6	6.5	34.0	△ 27.5		3.0	3.5	△ 0.5	57.6	58.8	△ 1.2	
10月上旬	13.6	13.4	0.2	18.8	18.2	0.6	9.7	9.0	0.7	98.5	44.5	54.0		5.0	5.0	0.0	56.0	44.8	11.2	
中旬	12.0	10.2	1.8	17.2	15.1	2.1	7.3	5.5	1.8	60.5	42.2	18.3		5.0	5.9	△ 0.9	56.2	48.2	8.0	
下旬	10.2	8.7	1.5	15.1	13.4	1.7	5.6	4.2	1.4	23.0	30.6	△ 7.6		5.0	5.0	0.0	59.6	47.7	11.9	
4月	8.3	6.5	1.8	12.9	11.8	1.1	3.7	1.5	2.2	80.5	47.6	32.9	169	13.0	12.1	0.9	157.5	200.7	△ 43.2	78
5月	12.9	12.9	0.0	19.1	18.6	0.5	7.6	7.8	△ 0.2	39.5	81.9	△ 42.4	48	9.0	11.9	△ 2.9	237.8	203.2	34.6	117
6月	18.3	16.6	1.7	23.9	21.9	2.0	13.5	12.5	1.0	83.0	100.5	△ 17.5	83	12.0	11.0	1.0	191.1	171.7	19.4	111
7月	22.9	21.2	1.7	27.8	26.4	1.4	19.4	17.4	2.0	82.5	91.2	△ 8.7	90	11.0	9.7	1.3	158.5	188.7	△ 30.2	84
8月	25.7	21.6	4.1	30.6	26.4	4.2	21.9	17.8	4.1	122.5	206.6	△ 84.1	59	11.0	13.2	△ 2.2	176.4	158.8	17.6	111
9月	20.3	17.7	2.6	25.3	22.9	2.4	15.9	13.1	2.8	150.0	126.2	23.8	119	12.0	10.8	1.2	153.5	171.2	△ 17.7	90
10月	11.9	10.7	1.2	17.0	15.5	1.5	7.5	6.2	1.3	182.0	117.3	64.7	155	15.0	15.9	△ 0.9	171.8	140.7	31.1	122

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

季節表 (年. 月. 日)

区別	初 霜	根雪始	根雪終	降雪終	耕 鋤 始	晩 霜	初 霜	降雪始
本年	R4. 10.09	R4. 12.02	R5. 3.28	R5. 5.12	R5. 4.28	R5. 5.13	R5. 10.24	R5. 11.11
平年	10.19	11.28	4.4	4.21	5.4	4.28	10.17	10.27
比較	△ 10	4	△ 7	21	△ 6	15	7	15

注) 平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

農耕期間(5月～9月)積算値

区別	平均気温(°C)	降水量(mm)	日照時間(h)
本年	3,065	478	917
平年	2,756	606	894
比較	309	△ 129	24
平年比%	111	79	103

注) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

品種名		ななつぼし			ゆめぴりか		
苗種		中苗			中苗		
年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.18	4.16	2	4.18	4.16	2
出芽期	(月.日)	4.23	4.22	1	4.23	4.22	1
移植期	(月.日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1
幼穂形成期	(月.日)	6.28	6.30	△ 2	6.28	7.01	△ 3
止葉期	(月.日)	7.13	7.17	△ 4	7.13	7.18	△ 5
出穂期	(月.日)	7.21	7.27	△ 6	7.21	7.28	△ 7
成熟期	(月.日)	8.31	9.13	△ 13	9.01	9.13	△ 12
穂揃日数	(日)	5.0	6.8	△ 1.8	5.0	6.8	△ 1.8
登熟日数	(日)	41	48	△ 7	42	47	△ 5
生育日数	(日)	135	150	△ 15	136	150	△ 14
草丈(cm)	移植時	10.8	10.3	0.5	10.9	10.3	0.6
茎数(本/個体)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
主稈葉数(枚)	移植時	3.2	3.1	0.1	3.5	3.3	0.2
第1葉鞘高(cm)	移植時	2.9	2.8	0.1	2.6	2.6	0.0
地上部乾物重(g/100本)	移植時	2.31	2.22	0.09	2.49	2.22	0.27
地上部乾物重/草丈	移植時	0.21	0.22	△ 0.01	0.23	0.22	0.01
草丈	6月20日	29.2	28.0	1.2	29.6	28.0	1.6
(cm)	7月20日	83.1	67.0	16.1	85.5	66.6	18.9
茎数	6月20日	409	310	99	486	369	117
(本/m <sup>2</sup> )	7月20日	717	674	43	816	787	29
主稈	6月20日	7.3	7.0	0.3	7.5	7.2	0.3
葉数	7月20日	10.1	10.1	0.0	10.3	10.5	△ 0.2
(枚)	止葉	10.1	10.1	0.0	10.3	10.5	△ 0.2
稈長	(cm)	67.9	65.7	2.2	67.0	64.1	2.9
穂長	(cm)	16.8	15.9	0.9	17.4	16.6	0.8
穂数	(本/m <sup>2</sup> )	631	642	△ 11	688	751	△ 63
一穂粒数	(粒/本)	44.5	50.8	△ 6.3	37.9	41.0	△ 3.1
粒数	(千粒/m <sup>2</sup> )	28.1	32.6	△ 4.5	26.1	30.8	△ 4.7
稈実歩合	(%)	91.4	94.5	△ 3.1	94.1	93.9	0.2
稈実粒数	(千粒/m <sup>2</sup> )	25.7	30.8	△ 5.1	24.6	28.9	△ 4.3
登熟歩合	(%)	84.6	89.0	△ 4.4	87.9	86.8	1.1
登熟粒数	(千粒/m <sup>2</sup> )	23.8	29.0	△ 5.2	22.9	26.7	△ 3.8
粒摺歩合	(%)	78.5	78.2	0.3	72.3	75.4	△ 3.1
屑米歩合	(%)	4.3	5.2	△ 0.9	10.6	7.7	2.9
精玄米千粒重	(g)	22.6	22.9	△ 0.3	22.7	23.4	△ 0.7
わら重	(kg/a)	63.4	61.6	1.8	62.4	62.4	0.0
精粒重	(kg/a)	71.1	75.1	△ 4.0	70.3	73.6	△ 3.3
精玄米重	(kg/a)	55.8	58.7	△ 2.9	50.8	55.5	△ 4.7
屑米重	(kg/a)	2.5	3.2	△ 0.7	6.0	4.6	1.4
収量平年比	(%)	95	100	△ 5	92	100	△ 8
検査等級		1等	2上	-	2中	2上	-

注1) 平年値は前7ヶ年中、令和4年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

- 土壌 : 細粒グライ土
- 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a
- 播種量 : 中苗紙筒=160cc/箱
- 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m<sup>2</sup> 4本植え
- 移植方法 : 手植え
- 反復 : 2

注3) 登熟歩合は、枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水を用いて調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は、水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

### Ⅲ 果 樹

#### 1. りんご 作況：平年並

事由：3月から4月中旬の気温が平年と比べ平均で2～3℃程度高く推移したため、発芽期は「つがる」、「ハックナイン」、「ふじ」いずれの品種も10日程度、展葉期は「ハックナイン」、「ふじ」で10～12日平年より早かった。4月下旬以降の気温が平年並みとなったことから、生育速度が鈍り、開花始、満開期、落花期はいずれの品種も平年より3～5日早かった。

花芽率、果そう結実率はともに、いずれの品種も平年より高かった。

果実肥大は満開期が平年より早まったため、7月1日時点ではいずれの品種も平年より進んでいたが、7月、8月の少雨により肥大が鈍化し、最終的に、収穫

果実の一果重は「つがる」で平年よりやや大きく、「ハックナイン」、「ふじ」で平年並みであった。

収穫期は、満開期が平年より早かったことに加え、夏期の気温が高かったため、収穫期が早い「つがる」は平年より5日早かったが、「ハックナイン」、「ふじ」は平年並みであった。

果実品質は、いずれの品種も硬度はやや低く、蜜入りはやや少なかつたものの、糖度、酸度はほぼ平年並みであった。

病害虫については、腐らん病が平年並みに発生したものの、黒星病の発生は認められなかった。一方で鳥類による果実の食害が発生した。

以上から、一部で鳥害が発生したものの、収量および果実品質は平年並みであったことから、本年の作況は「平年並み」である。

りんごの生育と収量・果実品質

項目	品種 <sup>2)</sup> 年次 樹齢	つがる/JM7		ハックナイン/JM7		ふじ/JM7	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年
		12	11	17	12	17	12
生育経過	発芽期 (月.日)	4.9	4.20	4.8	4.18	4.11	4.20
	展葉期 (月.日)	4.28	5.3	4.17	4.29	4.20	4.3
	開花期 (月.日)	5.14	5.18	5.14	5.18	5.15	5.19
	満開期 (月.日)	5.20	5.25	5.19	5.23	5.20	5.24
	落花期 (月.日)	5.26	5.30	5.25	5.29	5.27	5.30
花芽率 (%)	88.7	71.5	83.5	67.7	81.9	72.1	
果そう結実率 (%)	96.4	83.2	90.6	84.1	87.7	82.6	
果 <sup>3)</sup> 実体積	7月1日	31.2	19.2	29.5	24.5	21.5	18.2
	平年対比 (%)	163	(100)	120	(100)	118	(100)
	9月1日	247.6	218.8	244.7	230.7	173.5	168.8
	平年対比 (%)	113	(100)	106	(100)	103	(100)
収量	収穫日 (月.日)	9.22	9.27	10.23	10.25	11.9	11.9
	一樹当り収量 (kg)	35.5	32.8	46.3	41.6	61.2	41.1
	収穫果一果重 (g)	317	285	348	352	287	285
果実品質	地色指数 (緑1-8黄)	4.6	4.4	4.2	3.9	3.4	3.8
	着色 (無0-10多)	7.6	8.1	8.0	7.1	8.1	7.6
	硬度 (lbs)	11.7	13.5	12.8	13.1	14.7	16.1
	糖度 (%)	14.4	14.3	14.4	14.4	14.3	15.2
	酸度 (g/100ml)	0.32	0.36	0.55	0.54	0.55	0.52
	蜜入り (無0-4多)	0.0	0.3	1.3	1.8	2.5	2.8
	コード 無0-5全面)	1.6	2.3	2.1	2.1	1.6	1.9

注1) 平年値は2013～2022年の10カ年平均である。

2) 「品種」は品種名/台木名として示した。

3) 果実体積 (c m<sup>3</sup>) = 4/3π {(縦径+横径)/4}<sup>3</sup>